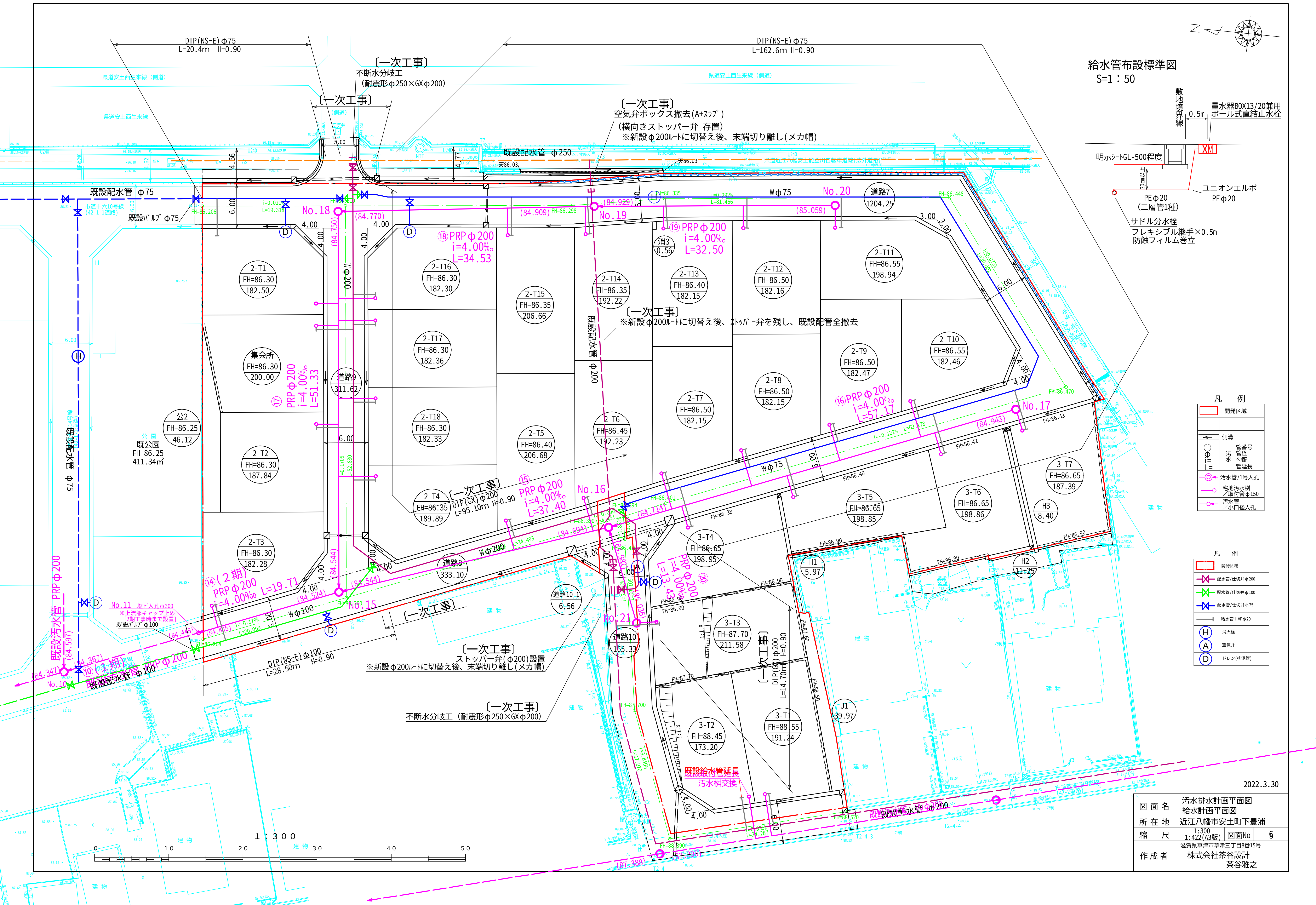
給水管布設標準図
S=1：50
敷地境界線
0.5m
量水器BOX13/20兼用
ボール式直結止水栓
XM
明示シートGL-500程度
30cm以上
PEφ20
(二層管1種)
ユニオンエルボ
PEφ20
サドル分水栓
フレキシブル継手×0.5m
防蝕フィルム巻立
DIP(NS-E)φ75
L=20.4m H=0.90
DIP(NS-E)φ75
L=162.6m H=0.90
〔一次工事〕
不断水分岐工
(耐震形φ250×GXφ200)
〔一次工事〕
〔一次工事〕
空気弁ボックス撤去(A+スラブ)
(横向きストッパー弁 存置)
※新設φ200ルートに切替え後、末端切り離し(メカ帽)
既設配水管 φ250
既設配水管 φ75
既設バルブ φ75
県道安土西生来線（側道）
県道安土西生来線
市道十六10号線
No.18
No.19
No.20
No.17
No.16
No.15
No.21
No.11 塩ビ人孔φ300
※上流部キャップ止め
[2期工事時まで設置]
既設バルブ φ100
No.10
⑱PRPφ200
i=4.00‰
L=34.53
⑲PRPφ200
i=4.00‰
L=32.50
⑰PRPφ200
i=4.00‰
L=51.33
⑯PRPφ200
i=4.00‰
L=57.17
⑮PRPφ200
i=4.00‰
L=37.40
⑭(2期)
PRPφ200
i=4.00‰ L=19.71
⑳PRPφ200
i=4.00‰
L=13.43
⑩(1期)
PRPφ200
既設汚水管 PRPφ200
Wφ75
Wφ200
Wφ100
Wφ75
〔一次工事〕
※新設φ200ルートに切替え後、ストッパ-弁を残し、既設配管全撤去
既設配水管 φ200
〔一次工事〕
DIP(GX)φ200
L=95.10m H=0.90
〔一次工事〕
〔一次工事〕
ストッパ-弁(φ200)設置
※新設φ200ルートに切替え後、末端切り離し(メカ帽)
DIP(NS-E)φ100
L=28.50m H=0.90
〔一次工事〕
不断水分岐工 (耐震形φ250×GXφ200)
〔一次工事〕
DIP(GX)φ200
L=14.70m H=0.90
既設給水管延長
汚水桝交換
既設配水管 φ200
既設配水管 φ75
2-T1 FH=86.30 182.50
2-T2 FH=86.30 187.84
2-T3 FH=86.30 182.28
2-T4 FH=86.35 189.89
2-T5 FH=86.40 206.68
2-T6 FH=86.45 192.23
2-T7 FH=86.50 182.15
2-T8 FH=86.50 182.15
2-T9 FH=86.50 182.47
2-T10 FH=86.55 182.46
2-T11 FH=86.55 198.94
2-T12 FH=86.50 182.16
2-T13 FH=86.40 182.15
2-T14 FH=86.35 192.22
2-T15 FH=86.35 206.66
2-T16 FH=86.30 182.30
2-T17 FH=86.30 182.36
2-T18 FH=86.30 182.33
集会所 FH=86.30 200.00
公2 FH=86.25 46.12
公園
既公園
FH=86.25
411.34㎡
道路9 311.62
道路8 333.10
道路7 1204.25
道路10 165.32
道路10-1 6.56
消3 0.56
3-T1 FH=88.55 191.24
3-T2 FH=88.45 173.20
3-T3 FH=87.70 211.58
3-T4 FH=86.65 198.95
3-T5 FH=86.65 198.85
3-T6 FH=86.65 198.86
3-T7 FH=86.65 187.39
H1 5.97
H2 11.25
H3 8.40
J1 39.97
建物
1：300
0 10 20 30 40 50
凡 例
開発区域
側溝
○ φ i= L= 汚水 管番号 管径 勾配 管延長
汚水管/1号人孔
宅地汚水桝／取付管φ150
汚水管／小口径人孔
凡 例
開発区域
配水管/仕切弁φ200
配水管/仕切弁φ100
配水管/仕切弁φ75
給水管HIVPφ20
H 消火栓
A 空気弁
D ドレン(排泥管)

2022.3.30

図面名	汚水排水計画平面図 給水計画平面図		
所在地	近江八幡市安土町下豊浦		
縮尺	1:300 1:422(A3版)	図面No	6
作成者	滋賀県草津市草津三丁目8番15号 株式会社茶谷設計 茶谷雅之		